

北加積地区の主な提言等と回答

と き:平成22年4月17日(土) 19:30~20:30

ところ:北加積公民館(92人参加)

提言等の項目	主 な 提 言 等	回 答 要 旨
コミュニティバスの活用	杉本地内から北加積小学校までは遠く通学は大変苦労している。朝の登校時だけでもコミュニティバスを使用し、小学生については無料化してほしい。	コミュニティバス事業は実施主体である公共交通会議による実証実験の途中であり、今後その中でご要望について検討させていただきたい。
補助金制度のあり方	ケアネット活動事業等に対しては地区で一律45万円となっているが、地区によっては需要に差があると思われる。申請のあった地区へ必要額を助成してはどうか？	補助事業として使い勝手があまりよくないとの意見も寄せられており、今回頂いたご意見も参考にしながら今後検討してまいりたい。
幼稚園に対する運営費補助	北加積幼稚園の運営費に対する助成制度について、“子ども第一主義”とのことであれば、今後の教育行政がどうあるべきか等も含めて、助成制度について考えるべきではないか？	今後、子ども課の設置を進めていくが、幼保一元化の議論もある中、地域の皆さんの意見も参考にしながら総合的に検討させていただきたい。
斎場使用料	斎場を新しくすると聞いているが、利用料は今後改定するのか？市外の方の利用料はどうするのか？	市外の方の利用については過去に料金を値上げしている。市内の方の利用料金については今のところ値上げする予定はない。富山市のように無料化するかについては、今後の検討課題である。 また、斎場改修時は市外の斎場を利用していただくことになる。利用料金等に差額が生じた場合は市から補填する予定としており、市民の皆様にはご不便をお掛けするがご理解とご協力を賜りたい。
新8号バイパス	早期の4車線化に向けてもっと力をいれて取り組むべきでは？	平成22年度末までに、稲泉までの4車線化工事が完了する予定である。今年度、早月川の橋梁工事も予定されており、引き続き市の重点事業として、国、県、国会議員等に要望していく。
まちづくりの方向性	本市は若い世代の人口流入はあるが、反面娯楽や余暇を過ごす場が少なく買い物も不便といった声が多い。 射水市の旧小杉町は工業出荷額は少ないが商業がとても発展している。旧小杉町にならって本市も経済界と手をとってまちづくりを進めたらいいと思うが？	住民がどういったまちづくりをしていきたいのか、その点が大事であり、20年後、30年後まちの中心をどこにもってくるのかといったことも議論しながら、住民と若者が真ん中にあるまちづくりに向け、今後検討してまいりたい。
タウンミーティング	もっと行政と市民が語り合えるタウンミーティングの機会を増やしたらどうか？	ご意見については今後参考にさせていただきたい。